

森永製菓グループ 価値創造の歩み

森永製菓の歴史を商品や社会活動をとおして紹介します。

世の中の動き



1890年代 近代国家の幕開け
明治維新から30年を経て、近代的政治体制のもと、近代化・工業化が急速に進展。
明治

1920年代 産業の近代化
製造業や海運業が発展。大戦景気に沸くも、戦後は一気に景気が低迷。恐慌状態へ。
大正

1950年代 高度経済成長
白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫が「三種の神器」と呼ばれる。
昭和

1980年代 バブル景気
円高ドル安が進行。大都市圏の地価や株価が急上昇し、バブル景気が発生。
平成

1990年代 バブル経済の崩壊
「価格破壊」が流行語に。共働き世帯数が専業主婦世帯数を上回る。

2000年代 情報化社会
SNSや動画配信サービス等が躍進。インターネットがコミュニケーションツールとして定着。

2010年代 社会課題への対応
健康志向の高まり。働き方改革やSDGsの発効等社会課題に対応する動きが増加。
より持続可能な社会へ。

1899
明治32年

森永太郎がアメリカから帰国し、「森永西洋菓子製造所」創業

1919
大正8年

8時間労働制の導入
業界に先駆けて8時間労働制を導入、健康保険組合等職場環境整備にも早くから着手

1960
昭和35年

ベルマーク運動に参加
全ての子どもに等しく、豊かな教育環境を与えるための支援を開始

1986
昭和61年

新エンゼルマークを決定
森永のイニシャルのMを基本フォルムに、ほほえみながら未来に向かってはばたくエンゼルが誕生

1991
平成3年

一般財団法人 森永エンゼル財団設立
エンゼルの精神を中心に据えて東西文化の歴史的研究を開始

2000
平成12年

全4工場でISO14001認証取得
小山工場が日本の菓子業界で初めて認証を取得

2011
平成23年

ハイチュウプレミアム発売

2017
平成29年

「TAICHIRO MORINAGA」の常設店をオープン
“お菓子をこえる、「をかし」な体験を”をコンセプトに大丸神戸店に出店

1914
大正3年

ポケット用紙サック入りミルクキャラメル発売

1923
大正12年

マリービスケット発売

1967
昭和42年

チョコボール発売

1989
平成元年


アイスボックス発売

1994
平成6年

ウイダー inゼリー発売

2006
平成18年

おいしいコラーゲンドリンク発売


2013
平成25年

ミルクキャラメル100周年
ミルクキャラメル発売100周年を記念し、本社ビル壁面ラッピング等の取り組みを実施

2018
平成30年

健康経営優良法人 2018
Health and productivity ホワイト500

1918
大正7年

日本初のカカオ豆からの一貫製造による国産ミルクチョコレート発売

1972
昭和47年

チョコモナカ発売

1975
昭和50年

ハイチュウ発売

1999
平成11年

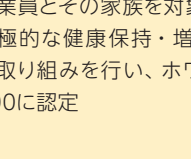
森永創業100周年 第1回リトルエンゼル無人島探検隊実施
21世紀の子どもたちの心からだのすこやかな成長を応援する企画を開始

2008
平成20年

1チョコ for 1スマイル
チョコレートの売上の一部でカカオ生産国の子どもたちの教育環境整備を支援

2014
平成26年

マクロビ派ビスケット発売

2014
平成26年

健康経営優良法人 2014
Health and productivity ホワイト500

森永製菓の出来事